

# キッズサッカーにおける鬼ごっこ活用の始まり

小林 敬史 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 新井 博

キーワード：キッズ，サッカー，鬼ごっこ

## 1. 緒言

### 1) はじめに

鬼ごっこはどんな小さな子どもでも理解できるルール（おにが子を追いかける）であり、人数制限もなく応用を利かせて楽しめる遊びである。多くの人が子どものころに1度は鬼ごっこに準ずる遊びを行ったことであろう。

サッカーの指導に関する本や記事に「鬼ごっこはサッカーに必要な能力向上に適している」と書かれている。実際鬼ごっこは、サッカーに必要な相手（ディフェンス）との駆け引き、コーディネーション能力（目や耳などでとらえた情報を脳で処理して神経を伝って筋肉を動かす一連の流れを瞬時に行うこと）、空間認知能力、コミュニケーション能力、敏捷性、対人観察力、判断力、フェアプレー精神を養うためにとても良いトレーニングである。そこで、その根拠はどこからくるものなのか、キッズサッカーに鬼ごっこを取り入れ始めたのはいつ頃で誰なのかが気になり研究を行うことにした。

### 2) 研究の目的

キッズサッカーと鬼ごっこの歴史、関係性、特性を調べ、鬼ごっこがなぜキッズサッカーに活用されたのかを明確にする。

## 2. 研究方法

### ① 文献調査

キッズサッカー サッカーの起源 鬼ごっこの起源 鬼ごっこが及ぼす効果

上記に関する資料を参考に調査を行う。

### ② データ調査

2003年から2012年に滋賀県サッカー協会で行われたキッズプログラムの報告書をもとに、キッズプログラムでどれほどの割合でメニューに鬼ごっこが取り入れられているかを明らかにし、その推移を調査する。

## 3. 結果と考察

鬼ごっこを行うことで特にコーディネーション能力が養われることがわかった。コーディネーション能力は、サッカーを行う時だけでなく、日常生活を送るうえでも重要な能力である。

日本でサッカーが行われたのが約140年前の海軍学校であった。さらに日本でキッズサッカーが開始したのが2003年である。

日本で鬼ごっこが始まったのが10世紀中期である。日本でサッカーと鬼ごっこが始まり、広まった時代には大きな時代の差があった。

以上のことからキッズサッカーにおける鬼ごっこの活用は早くても10年前から始まったと言える。

### 【引用・参考文献】

平野淳(2004)ジュニアサッカーバイブル，小学生指導の実践Q&A，pp.82-83. カンゼン出版  
豊田一成(2006)ジュニアサッカー，キッズのトレーニング集，pp.222-223. カンゼン出版。